

戸山サンライズ

◆ 2014年 秋号 ◆

特集

身体障害者補助犬の普及に向けて

スポーツ

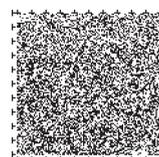
有意な社会的環境との縦の連携の必要性

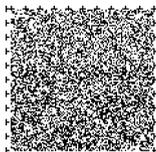
～イングリッドフットボール協会を参考に～

グラビア

第29回障害者による書道・写真全国コンテスト結果発表

全国障害者総合福祉センター





←これは、SPコードです。
専用読み取り装置の使用により、誌面の内容の音声出力が可能です。

第29回障害者による書道・写真全国コンテスト

写真部門 金賞 「ダルマさん今日は」

山口県 小林 哲也

(作品PR)

一年中夕陽撮影をするには最適の場所である光市室積海岸での作品です。1月10日から11月初めまで可能、但し、一時期夕陽が山の中に入る時期があります。今回は手前に舟がみえたので舟をダルマの中に入れてみました。

(寸評)

室積海岸に通いつめてよくご存知なのですね。嬉しい写真です。



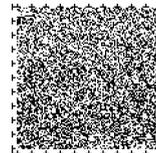
このコンテストは、障害者の文化活動等の推進を図ることで技術の向上、自立への促進並びに積極的な社会参加を目的として、(公財)日本障害者リハビリテーション協会(全国障害者総合福祉センター)の主催により毎年開催されているものです。第29回を迎えた今回のコンテストでも、全国各地より214点(写真部門)にのぼる素晴らしい作品がよせられました。

目次

2014年秋号

■特集：身体障害者補助犬の普及に向けて	
行きたい時に、行きたい場所へ	公益財団法人日本盲導犬協会 1
介助犬の普及に向けて	高柳 友子 4
聴導犬と介助犬ユーザーさんの「ハッピー」のお手伝いのために	
訓練でチャレンジ&コラボでチャレンジ	有馬 もと 7
■スポーツ	
有意な社会的環境との縦の連携の必要性	
～イングランドフットボール協会を参考に～	三枝 巧 13
■ライフサポート	
「社会保険Q&A」	高橋 利夫 16
■グラビア	
「第29回 障害者による書道・写真全国コンテスト」結果発表	17
■お知らせ	
さわれる 富嶽三十六景	25





行きたい時に、行きたい場所へ

公益財団法人日本盲導犬協会

1. はじめに

目の見えない人・見えにくい人の歩行をサポートするのが盲導犬です。最大の特徴は、盲導犬がいることで視覚障がいの方が行きたい時に、行きたい場所へ行けることです。1978年の「道路交通法」改正に伴い、視覚障がいの方が道路を通行するときは、白い杖の携帯、または盲導犬を連れていなければならないと規定され、法的にも盲導犬の存在が認知されました。現在日本には、国家公安委員会に認定され、盲導犬の育成ができる施設は11団体あります。そして全国で約1,000頭の盲導犬が活躍し、頭数に差はあるものの47都道府県すべてに存在しています。2002年10月に施行された「身体障害者補助犬法」によって3つの身体障害者補助犬の内のひとつとしても定められ、不特定多数の方が利用する施設や交通機関など様々な場所にユーザーと共に同伴することが認められています。



病院やホテル、コンサート会場への入場もできます

2. 盲導犬はどうやって育てるの？

盲導犬の育成は、盲導犬に向けた犬の繁殖から始まります。生まれたパピーは生後約2ヵ月でパピーウォーカーというボランティアにあずけられ、1歳になるまで育てられます。この期間は、人間社会で暮らすことを想定し様々な経験をするなど、盲導犬候補のパピーにとって盲導犬の基礎を作る大切な時期です。

1歳になると、訓練センターにもどり盲導犬になるための訓練が始まります。安全な歩行をするために重要となる「角を教える」、「障害物を教える」、「段差を教える」という3つの作業の他に、バスや電車に乗る、交差点の横断中に突然車が出てきた際には止まるなどといった訓練も行います。



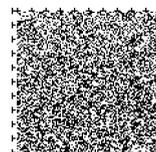
角を教える。左側の壁などに沿って、体を左に向けて止まる(写真左)。

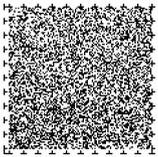
障害物を教える。障害物をよけたり、障害物とユーザーの間に入って止まる(写真中)。

段差を教える。上りの場合は1段目、下りの場合は段差の手前で止まる(写真右)。

3. 盲導犬と歩くには？

視覚障がいの方が盲導犬をもちたいと思った時、条件や犬の世話、費





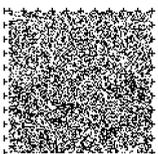
用について不安を感じられる方もいると思いますので簡単に説明します。

育成団体ごとに多少違いがありますが、18歳以上の視覚障害者手帳をお持ちの方で、積極的に外出したいと思っ
ている方、しっかりと犬の世話ができる方であれば、弱視や、仕事をされてい
ない方でも対象となります。また、日本盲導犬協会の場合、盲導犬は無償貸与
です。食費や医療費といった飼育にかかる費用は負担いただきますが、行政等
によっては医療費の補助が出ます。

晴眼者と歩く、白杖歩行、盲導犬歩行にはそれぞれ特徴があります。人と歩くのは、情報も
沢山入り安全ですが、事前のスケジュール調整などが必要です。白杖は、たたむ
ことができたり、軽くて管理が簡単ですが、杖が当たって初めて障害物が分
かり、回避することになります。盲導犬は、日々の犬の世話や訓練、最短で
も2～4週間の共同訓練が必要ですが、自分の出かけたタイミングでいつでも
出かけられ、高いところにある障害物も含め、障害物にぶつからずにスムー
ズに歩くことができる他、側にパートナーがいるという温かみを感じることが
できます。

実際に盲導犬ユーザーとなるためには、共同訓練を行う必要があり、初めて
盲導犬を持つ方は最短4週間、2頭目以降の代替えの方は最短2週間です。
共同訓練は合宿形式で行われ、歩行に関する技術の他に犬の世話などについ
ても学びます。盲導犬歩行は、ユーザーが頭の中に描いた地図と、盲導犬が
ハーネスを通して伝える角や段差などの情報を組合せて歩く、ユーザーと
盲導犬の共同作業です。実は、情報を的確に読み取りスムーズに歩けるよう
になるまでには時間がかかります。当協会では、定期的に、また相談に応じ
て随時フォローアップ訓練も行い、8年後のハッピーリタイ

アメントが迎えられるよう、盲導犬との歩行や生活を見守り続けていま
す。



パートナーの盲導犬がしっかり作業をしたら「グッド」と声をかけます。

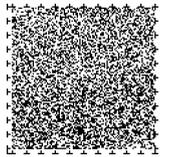
盲導犬は約8年間活躍し、10歳前後で引退します。盲導犬の引退時期に合わせ、ユーザーは代替えの新しいパートナーを持ちます。引退した盲導犬は元気なうちに引退犬飼育ボランティアの家庭で新しい生活をスタートし、最後の時まで楽しく過ごすのです。

4. 盲導犬ユーザーの言葉

それでは盲導犬と歩くようになって、視覚障がい者の方々の暮らしは具体的にどう変化しているのでしょうか？当協会では、毎年新しくデビューした盲導犬とユーザーが一堂に会して「盲導犬新ユニット出発式」を行っていますが、そこでユーザーから語られた言葉をいくつかご紹介します。

家族に頼らず自立しひとり暮らしがしたいと一念発起、盲導犬を持つことに。現在3頭目の盲導犬と暮らしている。盲導犬と歩いていると、多くの人に声をかけられ、電車の乗り換えなど案内してもらったこともしばしば。1日の節目に「おはよう」「おやすみ」と話ができる相手がいること、いつも側に温もりがあることが何より安心で幸せ。
(70代女性)

やがて失明すると医師に告げられて、これからどう生きていったらいいのか？途方に暮れた。1



日の大半をTVの前に座って過ごし、家からでることも殆どなくなっていた。

家族がたまたま盲導犬を見かけたことがきっかけで、日本盲導犬協会にたどり着いた。誰にも気兼ねしないで好きな時自由に出かけられることの喜び。海辺の散歩道で風を感じる時「ああ、歩いているんだな」と実感がこみ上げてくる。盲導犬との出会いで本来の自分を取り戻すことができた。(60代男性)



共同訓練ではシャンプーやグルーミングなどの方法も学びます。

盲導犬という存在は知っていたけれど、しっぽを垂れて元気なくつまらなそうに歩くイメージがあって一緒に歩きたいとは思わなかった。ある時自分自身で確かめてみようとして体験歩行をして印象が一変。盲導犬は尻尾をふって楽しそうに歩き、一緒に歩く自分も楽しい! 「盲導犬と歩きたい」と素直に思った。今は盲導犬がいない生活など考えられず、月に数回コンサートや観劇へ自由に行くこともできて、世界が広がっている。(60代男性)



補助犬法施行 10 周年を記念し、2012 年 4 月、法律の理解を訴え盲導犬ユーザー 15 名を含め総勢 200 人が渋谷の街をパレードしました。

5. 身体障害者補助犬法

2002年に施行された身体障害者補助犬法により、不特定多数の方が利用する施設や交通機関などにユーザーと共に補助犬を同伴することが認められています。一方でユーザーに犬の適正な管理も求めており、共同訓練ではしっかりとした犬の行動管理、排泄・グルーミングなどを通じた衛生管理、予防接種や日常生活に必要な犬の飼育方法を通じた健康管理の知識を身につけます。盲導犬自体の認知度は上がりましたが、現在でも受け入れ拒否にあう事があります。こういった事例には、一つひとつ協会が対応しています。また、ユーザーにとって暮らしやすい社会となるよう、イベント会場や学校などで、盲導犬の理解、周知を繰り返し訴える他、銀行や飲食店、ホテルなどへ働きかけ、補助犬受け入れセミナーも行っています。

6. さいごに

盲導犬は日本全国に約1,000頭あまりと決して多いとは言えない存在です。けれど、盲導犬と歩きたいと希望される視覚障がい者がいる限り、日本盲導犬協会はよりよい盲導犬、よりよいサービスを提供できるよう日々活動に励んでいます。盲導犬歩行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、まずはお近くの訓練センターまでお気軽にご連絡ください。

問合せ先：日本盲導犬協会

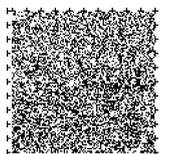
神奈川訓練センター 045-590-1595

仙台訓練センター 022-226-3910

富士ハーネス 0544-29-1010

島根あさひ訓練センター

0855-45-8311



介助犬の普及に向けて

社会福祉法人 日本介助犬協会
事務局長/医学博士 高柳 友子

介助犬とは

介助犬とは、脊髄損傷や神経疾患、骨関節疾患、脳卒中等で手足に障がいがあり、日常生活動作に課題がある方々のために、落とした物を拾って渡したり、手が届かない物を持って来たり、ドアや窓の開閉、電気やスイッチ等の操作、そして何よりも重要な動作として、緊急時の連絡手段ともなる携帯電話や電話の子機を持って来る等の動作を行います。車椅子や電動車椅子で移動する方以外に、歩行障害がある方の歩行や階段の上り下りの支えとなり、推進力となって歩行を支える介助犬もいます。(図 1)

障害者手帳では、肢体不自由や体幹機能障害の手帳をお持ちの方が適応となります。手足の障がいは医学的に、原因疾患も様々で、千差万別です。障がいの種類や程度、合併する障がいや症状も個々に異なるのが特徴で介助犬に求められる介助動作も、個々の使用者によって異なります。そのため、個々の障がい者に合わせて候補犬の選択と訓練がなされるところが、介助犬育成の難しい点です。

1990年代後半から我が国でも育成が始まった介助犬は、当初は法律的位置づけがなく、家の中ではどんなに素晴らしい役割を果たしてくれても、

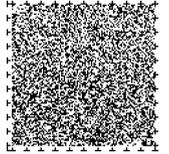
外に連れて出れば一緒に店舗にも入らず、レストランも行けず、交通機関利用も出来ない環境でした。「これ



では介助犬が自立や社会参加のために役に立つことが出来ない！」と当事者としての社会的な理解と法制化の先駆的努力があつて、介助犬は法制化されました。

介助犬の効果

介助犬がいれば、落とした物を拾って渡してくれることで、いつも物を落とさないように気をつけなくてはという注意をしなくても、いつでも人に頼まずとも物を拾えるようになる、ドアや窓の開閉が出来る、手が届かない物を取れる、ベッド上でも、夜中でも冷蔵庫から冷たい飲み物を取って来てもらえる、転倒や移乗失敗などの緊急時に携帯電話等を持って来てくれる、など危険がないように細心の注意を払い、もしくは不安があるために一人でいられない、一人で外出出来ない、常に家族や介助者がいなくては不安であるが故に、



自分のペースで行動出来ないといった課題を解決することが出来ます。ただ、これらの機能的な効果以上に大きいのが生き物である犬がもたらす効果だと思われます。常に寄り添ってしてくれる伴侶がおり、精神的な絆を感じる安定感と幸福感、そして周囲の方々とも介助犬を介しての会話が生まれる社会的潤滑油効果です。また、介助犬の世話は使用者自身がしなくてはなりません。これは、物を拾えない、手が届かない物を取れない肢体不自由者にとっては負担ともなり、矛盾することでもあります。作業療法士やリハビリテーションエンジニアが、個々の障がい者に合った方法や道具の開発をすることで、使用者となる障がい者自身が犬に食事や水を与え、散歩に連れ出し、遊んであげ、排泄をさせ、その排泄物を処理することは可能となります。(図2)そして、犬の健康管理を担うことで、自らの生活も犬に合わせて規則正しく送るようになり、毎日、使命感を持って早起きをして、食事をし、外出もして夜も早く寝るようになるという使用者が多いことは、犬の保護者としての自覚と責任がなせる効果であろうと思います。犬の飼育管理動作は、精神的には負担とならず、むしろ「やってあげたい」と思う気持ちから、介助犬と暮らすようになってから健康的になった、毎日世話をしているせいか可動域が広がった、耐久力がついた、という声を多く聴きます。これがまさに、介助犬のリハビリテーション効果ではな

いかと思います。

実態と課題

介助犬の飼育に負担がないといえば嘘になりません。犬は一人では生きられません。1日に2回決まった時間に決まった食事を与え、水をあげて体重管理や健康管理をし、毎日ブラッシングや湯拭きなどの衛生管理をし、歯磨きや耳掃除をし、3-4時間おきにはおしっこをさせ、1日1-2回はうんちをさせて、うんちの状態健康状態を確認してあげなくてははいけません。これらを怠れば、元気に長生きしてくれないかもしれませんし、不衛生になったり、臭くなるとは、社会参加の際、他人に迷惑を及ぼします。

介助犬使用者の皆さんは、大切なご自分の介助犬に元気でずっと長生きして一緒に寄り添っていきたくて、ご自分の健康管理以上に犬の健康管理には気をつけておられますし、また衛生管理もしっかりされ、犬のことを「きれいですね」「可愛い」など褒められると、まるで自分が褒められているかのように喜んでおられます。それが、道具や機械とはまったく違う点なのだろうと思います。そして、介助犬を介してする会話で、多くの人と繋がる事が出来、犬を話題に、笑顔で話しかけられたり、挨拶を交わすような経験をすることが出来ます。これまで障がいのことを出来るだけ話したくなかった、周囲からの理解のない眼が

気になって出来るだけ外に出たくなかったという方が、「この子(介助犬)のことをもっと多くの人に話したい。自分の姿を見せたい」「介助犬と一緒になら、また仕事に就ける」というほど、元気になっていられる様子を観て、私達関係者は、何よりも大きな社会参加促進効果だと感じています。

図2 排泄物の処理



伸縮リーチャー

伸ばすことにより、かがまずに床にあるペットシートを手元に引き寄せられます。先に袋を付けることで糞を直接受けることもできます。



ペットシート

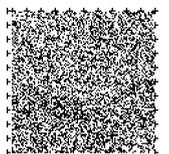
リーチャーをひっかける為に紐を四辺に付けています。

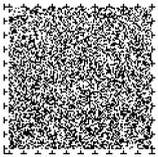
排泄台

ペットシートに手が届く高さになるよう排泄台を使用することがあります。



【リーチャー使用例】





身体障害者補助犬法とは

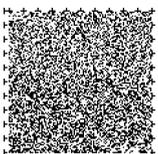
2002年5月22日、橋本龍太郎元総理を会長、現宝塚市長である中川智子衆議院議員を事務局長とした超党派の議員連盟、身体障害者補助犬を推進する議員の会提案の「身体障害者補助犬法」が成立し、当事者が「補助犬との社会参加の保障」が法律に謳われました。同法では、補助犬の健康・衛生・行動管理の全責任は同伴する使用者にあり、補助犬使用者は社会参加をする上で「他人に迷惑をかけてはならない」とされ、その責任能力があるかどうかの試験を厚生労働大臣指定法人により実施されて初めて、認定を受け、表示することが出来ます。

ペットとの社会参加が基本的には許されていない日本社会で、障がい者の社会参加が目的である同伴を受け入れなければならない補助犬は特別な権利を与えられることとなります。「補助犬を同伴して社会に迷惑をかけないことを約束する」という使用者側の義務を先に明確にした上で、社会に対して受け入れなければならないという義務を課した、障がい者に対しては、温かくも厳しい法律といえると思います。

今後の課題

介助犬は現在、未だ全国で70頭と少ししか実働していません。多くの場所で、介助犬の適応があると考えられる障がい者から「たくさんの方が待っているのだから廻って来ないと思った」「自分よりも重度な人が持つものだと思った」「自分はまだ若いのもっと歳を取ってから」「犬の世話が出来ないのでムリだと思っていた」など、理解が十分でないことで介助犬を活用することを躊躇してしまっている話を耳にします。

車椅子や杖などの補装具のように、リハビリテーション専門職から、障がい者に情報提供がなされれば、これらの課題は解決して行くと考え、当協会では、4年前からリハビリテーション専門職向け介助犬セミナーを実施し、当事者向けの体験会や体験入所の際も専門職に勉強する機会として頂いています。



また、介助犬の育成普及活動はほぼすべてが寄付に頼っており、不安定要素となっています。ただ、一方で、医療保険や手帳による福祉事業の枠組みを超えた自立支援社会参加支援が出来ること、またご寄付やボランティア等の支援をお願いして行くことは、社会的に大きな広がりを持つ事業となっており、むしろ介助犬使用者にとっての強い使命感ややりがいにつながっているメリットも感じています。

我々訓練事業者は、広く多くの個人団体の皆様にご寄付をお願いしてこの事業を行っています。介助犬候補犬を繁殖し、育成と訓練を行って介助犬を個々の使用者には無償で貸与し、継続指導等を行っています。

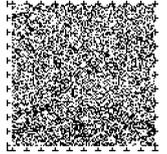
当協会のモットーは「人にも動物にもやさしい社会をめざして」です。街で介助犬を見かけても珍しくないような社会になることをめざし、障がいを持ち、後ろ向きになっていた気持ちを「この子（介助犬）と出会えた人生、生きていてよかった。もっともっとたくさんのところにこの子と一緒に出かけたい」という言葉に変えられる介助犬が我が国で普及する日を願って、これからも、全国を東奔西走して介助犬の普及活動に務めてまいります。

我が国唯一の介助犬専門訓練施設、介助犬総合訓練センター シンシアの丘（図3）に是非一度見学にお越し下さい。

社会福祉法人 日本介助犬協会 <http://s-dog.or.jp>

図3 介助犬総合訓練センター
シンシアの丘





聴導犬と介助犬ユーザーさんの「ハッピー」のお手伝いのために チャレンジ&コラボ

厚生労働省関東信越厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人 (福)日本聴導犬協会
会長 有馬 もと Ph.D

(福)日本聴導犬協会は、これまでいくつもの「世界初」や「日本初¹」へのチャレンジの機会を頂いてきた。2014年も多くのご支援者のご理解でユーザーの安心と利便性、なによりも「ハッピー」のために拠点創りのチャレンジができた。

本部は長野県に置く。2008年からは東京事務所、関西事務所を開設。定期的に『聴導犬・介助犬なんでも相談室』を実施し、3地域において聴導犬や介助犬に関する相談や体験ができる拠点創りに踏み出した。2013年には、大阪 ECO 動物海洋専門学校からの補助犬への理解により、有馬の授業を『聴導犬・介助犬なんでも相談室』として補助犬に関心のある方々が自由に参加でき「全日本聴導犬ユーザーの会」との協働(コラボ)による「相談」と「補助犬体験」のシステム創りができた。

さらに2014年11月には、中部地区での拠点創りとして念願の(福)中部盲導犬協会と、「相談業務」に限り(福)日本聴導犬協会と双方の施設を利用できるコラボを開始した。訓練に関する助言も得られる。覚書をかかわした正式の協働として中部地区での身体障がい者支援の充実につなげられる。

◆幸せ指数が、エンパワメントにつながる

様々なチャレンジの目的は、ユーザーの「利便性」や「安心」などだが、なによりも(福)日本聴導犬協会が目指すのはユーザーさんの「ハッピー」である。国連でも、国の「GNP」や「GDP」といっ

¹ たくさんの日本初! 2001年①聴導犬としては公的乗物(JR西日本)への同伴試験合格。②航空3社搭乗試験合格。③聴導犬と介助犬の2つの働きをする「多目的補助犬」貸与 ④英国聴導犬協会からの世界初の国際認定聴導犬インストラクター資格授与 ⑤世界初 英語圏外でADI(国際アシスタンスドッグ協会)理事に就任 ⑥日本初のADI国際認定試験合格 ⑦ADI聴導犬インストラクター国際認定など

た総生産ではなく、国民の「GNH(:Gross National Happiness 国民総幸福感)」を尺度として測り、ブータンが「幸せな国」と評価されたのは記憶に新しい。憲法13条でも保障される「幸福追求権」は、私たちが生きるために不可欠で不可侵な、最大の命題でもある。補助犬を規制する身体障害者補助犬法では「自立」と「社会参加」が目的とされるが、補助犬との生活が「幸福」に結びつかない限り、どんな崇高な目的も達成はできないだろう。

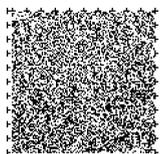
(福)日本聴導犬協会のユーザーに限らず多くの補助犬ユーザーで、補助犬との生活により「人生が変わった。自分が変わった」という方と出会う。補助犬はその方たちの生活や心を支え、共に寄り添って歩むエンパワメントの担い手である。人にはできないことで、補助犬にできることもあるのだ。(福)日本聴導犬協会は、人間を変える素晴らしい役割を備えた聴導犬や介助犬を育成する。そのためにこれからも訓練と組織創りに渡って、チャレンジ&コラボを繰り返していく。

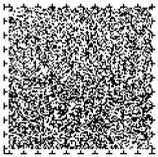
◆聴導犬のリスクコミュニケーターとしての役割

日本の補助犬の中で、最も貸与数が少ないのが聴導犬だ。聴導犬は、聴覚障がいのある方に、生活に必要なドアベルや目覚ましなどを教える身体障がい者補助犬である。

聴導犬は①「ドアベルの音で訪問客を報せる」②「目覚まし時計の音で起こす」③「赤ちゃんの泣き声や幼児が呼ぶ声を報せる」などの日常的な音の他に、生活での安全を保つために④「警報音で危険を報せる」⑤「笛吹きヤカンの音で、吹きこぼれによるガス漏れや空焚きなどの危険を報せる」といった聴導動作により、ユーザーに前足でタッチして教える。

(福)日本聴導犬協会での訓練では、





聴導犬が報せる音を8つまで選んでいただくが、ユーザーとの生活を通して自然と音が増えていく。その結果、聴導犬の教える音は「無限大」といわれる。

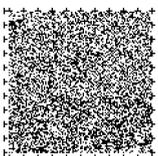


耳の不自由な方に生活に必要な音を報せる聴導動作を通じて、聴導犬がもたらすユーザーへの効用は5つに分けられると(福)日本聴導犬協会では考える。

▽「聴導犬がもたらす5つの効用」

- ① 24時間体制で必要な音を教える
- ② 音を教えてくれることでの「安心」「安全」
- ③ 聴覚障がい者にもたらす精神的な効用
- ④ 災害(リスク)時の意志の疎通役(コミュニケーター)
- ⑤ ユーザーだけではなく社会を明るくする

聴導犬の働きは聴覚障がい者の耳がわりとして
 ①「生活に必要な音を教える」という利便性は勿論、②「24時間体制で音を教えてくれる」ことでの安全と安心の確保ができる。さらに、飼い主の心を支える「精神的な効用」はペット犬でも多く論証される。しかし、聴覚障がいは「コミュニケーション障がい」であり、外見に障がいが顕れない「不顕性の障がい」ゆえの周囲からの誤解や無理解により「最も孤独な障がい」とたとえられることもある。



聴導犬の同伴では、相手が犬好きに限られるかもしれないが、ユーザーと周囲の人との「話しかけのきっかけ」や「(お互い)を知りあうきっかけ」という「仲介」の役割も担える。ユーザーにおける人間関係への自信や積極性につながる。そのことから「自信」や「自尊心」。「主張する」勇氣などにもつながっていくといわれる。

特に、災害や事故が起こった際には④で述べるリスク・コミュニケーターとしての役割は大きい。災害時の意志の伝達役として、聴導犬を同伴するだけで周囲に「聴覚障がい」を気付かせ、自主的なお手伝いや情報提供につなげることができる。また、⑤「社会をやさしくする」効用については、(福)日本聴導犬協会が東京駅と大阪で行った街頭調査でも、聴導犬だけでなく、

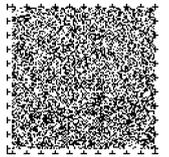
他の補助犬とユーザーとのやさしい関わりに出会った人々は微笑みや穏やかな表情で会話を始めた。ユーザーに対しても、笑顔や声かけ、挨拶などポジティブな接触へとつなげていった。

◆「使い馴れた・使える物」が必要

2011年3月の東日本大震災による宮城県での被災者の調査では、健聴者と聴覚障がい者の人口で聴覚障がい者の約2倍であった。

被災された、ある聴覚障がいの男性は地震後に自宅の1階で片づけの最中に津波に家ごと飲み込まれ、流れ込む海水に首まで漬かりながら、割れた窓ガラスから外に出て2階にはい上がり、難を逃れたと聞く。外では、大音響でサイレンやアナウンスなどで避難を呼び掛けていただろう。県からの無線やファックス。携帯のメールも、停電や回線のパンクによりいっさいその聴覚障がい者には届かなかった。社会に存在する情報のほとんどが、音声であり、耳の聞こえない方たちには音声情報は活用できない。そのことを企業も商店街も家族も、社会全体が気づくことが、減災につながるはずだ。

年間200回近い講演会会場で、聴覚障がい者の方から以下のようなご質問をいただいた。



- ◆ケース1：聴覚障がいのある主婦が、階段から落ちて足を折った。夫がわずか2メートル離れたところでテレビを見ていたが、ろう者のため背後での妻の異変に気づかない。妻は痛い足をひきずって、夫の背中をたたいて助けを求めた。聴導犬はそんな時にどんな補佐をするのか？
- ◆ケース2：汲み取り式のトイレに落ちた幼児の泣き声が聞こえず、数時間も家の周辺を探し回った。冬場ならその幼児は凍死していただろう。こんな時にも聴導犬は助けてくれるのか？
- ◆ケース3：集中豪雨警報がテレビで出ていたが、見ていなかったので知らずにいた。地方に住む友人からのファックスで、2階の窓を開け、大雨で道が川のようになっていたので驚いた。そんな時の聴導犬の役割はどのようなだろう？

ケース1については、聴導犬に「呼んできて」と言えば犬の優れた聴覚によって、相手が家のどこにいてもささいな音で聞き分け、呼んできてくれることで、早期に家族を助けられる。

ケース2も同様である。子供の泣き声や「お母さ〜ん」という声だけでなく、幼児の状態によっても家人を呼んできてくれる。

ケース3では、天災や近くの火事などを異変として聴導犬が知らせた例があがる。聴導犬も生き物なので、自分に迫ってくる異変をユーザーに知らせ、犬自身の安全を図るのは当たり前のことなのだ。

アメリカではホテルに泊まる聴覚障がい者に警報音などを報せるバイブレーター付きの呼び出し器を渡すように義務付ける州がある。すばらしい処置ではあるが、馴れない器具を渡されても、置き忘れや正常な反応にも気付かないこともある。遣い馴れた物で、自分で使える物でなければ効果は上がらない。

自治体からの災害時の聴覚障がい者向けのメールや無線、ファックスなどの各種通報は画期的な試みである。しかし、日常でもファックスによる緊急の受信に気づかず、そのままにしてしまう聴覚障がい

者も多く²、東日本大震災のように停電や回線のパンクといった非常時での対応は不可能だろう。携帯電話はすべての聴覚障がい者が所有するものでも、常に携帯しているわけでもない。聴覚障がいへの理解に加え、中途失聴者とうろう者との生活での問題の違いを考慮した上で、災害時の意志の伝達役となるなんらかのリスク・コミュニケーターによる減災が必要だろう。聴導犬は通常の生活だけでなく、災害時のリスク・コミュニケーターとして重要な役割を果たせる。

◆教えてほしい音は、リスクを含む

筆者が監修した日本聴導犬協会の調査「聴導犬に教えてほしい音」では予想外の結果が出た。生活に密着した音ではなく、わずかな差であるが警報器音が1位となった。警報器音は、実生活では経験する可能性の低い音のはずだ。それにもかかわらず「警報器音を教えてほしい」割合が高いのは、警報器などの音声を利用できない聴覚障がい者ならではの回答となるだろう。非障がい者は、自宅やホテルで休息をとるにしても、万が一の際の警報音を信頼し頼りにできる。しかし、聴覚障がい者だけの家族の場合はホテルであろうと自宅であろうと、ドアを閉めて鍵をかけ、そのうえ熟睡してしまえば、近隣住人からの通報さえ難しい。その点から、警報器への対応について聞いてみた。

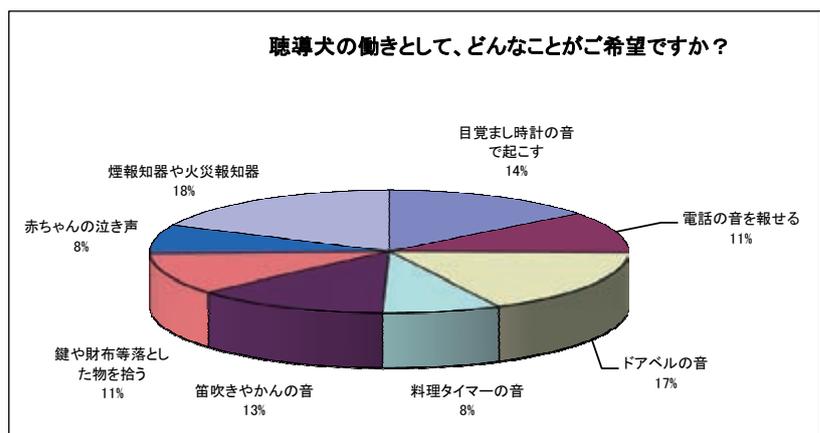
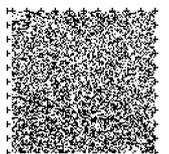
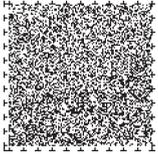


図 聴導犬に教えて欲しい音の種類³

² 有馬もと『アシスタンス・ドッグ』大月書店 2000

³ 資料1：(福)日本聴導犬協会調べ「239人の聴覚障がい者の日常生活における聴導犬の必要性」2000年調べ





「どうしようもない」「分からない」などの一種あきらめたような答えが37名で全体の49%に及んだ。棒グラフで左側の高めの答えは「家族や知人、近所の人に教えてもらう」（全体の20%）である。しかし、非障がい者と出会うことのできる屋間か家の外、または、家族に非障がい者がいない場合は「他の人に音を教えてもらう」のは不可能となる。答えの中で「死ぬかもしれない」という悲痛な声もあがる。軽度の聴覚障がい者の中には「聞こえる範囲を期待する」「補聴器で補えるだろう」が上げられた。聴覚障がい者でも、個々の聴力の度合いで生活での問題点は異なることがわかる

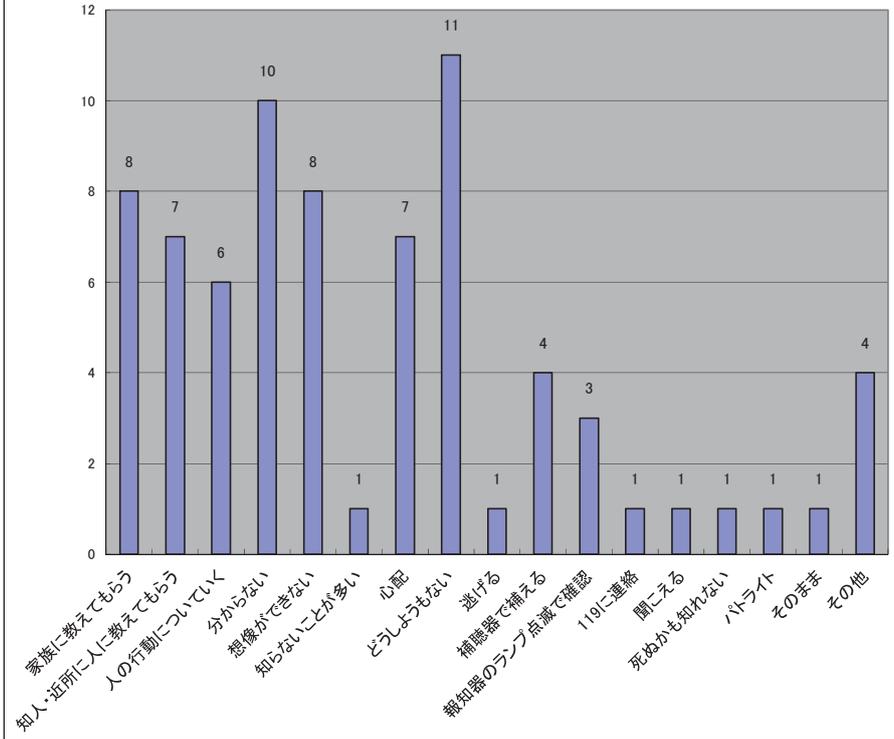
福祉機器での音への誤作動や、ユーザー本人が意識していないと点滅や振動に気付かないことも多いと聞く。聴導犬との暮らしでは、ユーザーではなく聴導犬の方がいつもユーザーを意識しているので、ユーザーが眠ってしようと、何かに熱中してしようと、必要な音を教えてくれる。福祉機器からの光や振動への気配りをしなければならなかった緊張感は、聴導犬がいることで軽減できるといわれている。睡眠時の逃げ遅れも少なくなるはずだ。

育成を通じて、聴導犬は訓練していない緊急音までも、犬自身が考えて教える事実を知った。前述のとおり、聴導犬は他の補助犬と異なりユーザーには命令（「今、音がしているから音を教えなさい」）が

できないことから、犬が自分で音を聞き分け、その音に合う教え方をする。犬の判断能力に任された補助犬だ。ユーザーが上げた例では「みかんが、タッチして伏せをしました」。通常は前足でタッチして音源へ導くが、伏せをした場合は警報機などの危険が迫っている警告となる。ユーザーは「火事かなと思ひ、台所や2階を見ても何も無い。でも、みかんがウソを言うはずがないので、窓を開けたら道が川に見えるくらいの豪雨でした。あわてて、テレビをつけたら大阪は集中豪雨注意報が出ていました」とあった。そのほかに、やはり「伏せ」をして、家の前を歩きかう救急車や消

Q7.煙報知器、火災報知器など警報機が鳴った時はどうしますか？

全国：239名

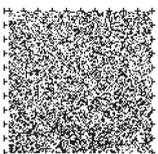


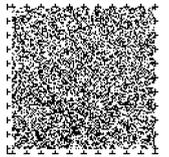
聴覚障がい者は、日々の暮らしの中で、音を視覚的に判断できるさまざまな福祉機器を使用している。例えば、ドアベルやファックスの受信音などを光に変えて視覚で認知するパトライトやフラッシュライト。ユーザーが眠っている間も振動で目覚ましのアラームやドアベルを教えるバイブレート式時計などもある。その他、赤ちゃんの泣き声を教えるベビーアラームなど、多岐にわたる。

防車数台のサイレンを教え、近所の小火騒ぎにも気づくことができた。決められた音以外に、生き物としての判断で天変地異や火事なども報せることで、減災にも役立つはずである。

◆「自己選択」「自己決定」に基づく社会リハビリ

社会リハビリテーションは、障がい者自らの力による「自立」と「社会参加」での実現であると提唱するのは IAADP（国際アシスタンスドッグ・





パートナー：国際補助犬ユーザー協会）の元会長 Eames 博士である。博士は『補助犬研究』（日本補助犬研究所発行）第1巻の中で「米国、英国、大陸欧州における補助犬普及運動の歴史は、医学界と補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）の訓練・普及活動を行う組織との間の明確な違いを示している。これは、これら2つの多様な専門家グループの非常に異なるミッションに基づいている」⁴と提唱し、その上で、医師は身体障がい医学的な問題と見ており、一方、（自分たち補助犬ユーザーを含めた）補助犬プログラムではこれを社会的な問題と考えている」と、述べる。

博士によれば、補助犬訓練プログラムの目的は身体障がい者を治療することでも機能回復でも、職場復帰でもなく、良く訓練された犬とのパートナー・シップを通じた補助犬ユーザー自身による自立、安全、活動の自由、より良い QOL（クオリティ・オブ・ライフ）の実現である。医療リハビリテーションと身体障がい者補助犬との違いについて、Eames 博士は身体障がいについて異なる方向性を示す以下の3つのモデルを（1）医療モデル（2）リハビリモデル、（3）自立生活モデルとし、（3）の自立生活モデルだけが、自分自身の擁護者（セルフ・アドボケーター）となれると結論付け、障がい者自らの自己選択、自主決定の重要性を説いている。

Eames 博士と『全日本聴導犬ユーザーの会』岸本宗也（かずや）会長との会談でも、「自己選択」「自主決定」の上で「自分が聴導犬と暮らすのか、否か」「どの団体から選ぶのか」など、聴導犬との生活に至る経緯さえも、自らの「決定権」によることで本来の「自立」「社会参加」そして、「ハッピーにつながる」と説いている。

（福）日本聴導犬協会は、身体障がい者のための「ハッピー」のお手伝いをさせていただいている。そのためには、希望者の意志や価値観などに重きをおいた補助犬育成が不可決と考え、さらなるチャレンジ&様々な団体とのコラボに挑んでいくだろう。

資料：聴導犬の歴史 1966年から約50年

1966年。デトロイト（米国）でペット犬だった

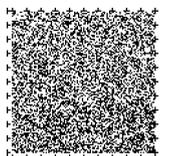
シェパード（スキッピー）が生後4ヵ月になったとき、自分から耳の不自由なリンダ・プリチャード（当時16歳）に、ドアベル、電話、嵐でバウンドする窓やドアの音などを前足で教えた。このことから、その両親がアメリカン・ケネル・クラブ認定の訓練士であったサリー・テロックス夫人に依頼し、聴導犬としての訓練を行い、世界最初の聴導犬（ヒアリング・イヤー・ドッグ）となった。スキッピーは1968年に自治体（インターナル・リベニュー・サービス：IRS）から「聴導犬」と認められ、リンダの両親は、盲導犬ユーザーが受けられる医療控除と同等の、税控除の対象者となった。

スキッピーが税控除の対象と公認を受けた⁵事実から、聴導犬の歴史は1966年にアメリカで始まったといえる。1970年以後に聴覚障がい者に関わる福祉団体アメリカン・ヒューメイン・アソシエーション（AHA）の呼びかけで、聴導犬の組織立った訓練が始まる。育成団体としては、ボストン近郊に NEADS とオレゴンにドッグス・フォア・デフ、アメリカ最大の動物保護団体 SPCA の聴導犬育成部門が設立され、これらの団体の責任者たちが、のちの補助犬育成団体の国際総会である ADI（Assistance Dog International）を創設し、アメリカにおける補助犬育成団体での訓練基準や運営方針を創り上げていく⁶。世界で最も成功する英国聴導犬協会は日本よりも1年遅れの1982年から王立聴覚障害者協会のレディ・ライト会長と獣医師により創立⁷された。当初から無料貸与、無料アフターケアを行い、これまでに1500頭以上が活躍。日本では、米国での聴導犬育成の成功を知り、世界で2番目に1981年（国際障がい者年）から小動物獣医師会と警察犬訓練所が協力して育成を開始。これまでに推計で100頭前後の貸与となる。

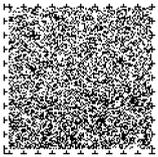
⁵ Denver Post、16、1968

⁶ 有馬もとによる取材、NEADS、Dogs for Deaf、SPCA Hearing Dogs Program 2002年

⁷ 有馬もとによる取材、英国聴導犬協会 1997年、2003年



⁴ Eames., 「医療と補助犬普及運動について」『補助犬研究』第1巻、日本補助犬研究所編、2004年9月8日、pp. 4-6



◆有馬もと略歴:有馬もと PhD 政策研究。補助犬ジャーナリスト。聴導犬・介助犬 ADI 国際認定インストラクター。厚生労働省関東信越厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人(福)日本聴導犬協会会長。英国国立エジンバラ大学大学院社会学社会科学修士号取得。英国ケント大学大学院文学部ディプロマ取得。中日新聞社会功労賞受賞(2001年有馬個人に対して)・NPO 法人グランプリ受賞(日本青年会議所創立50周年記念事業 01年活動に対して)など多数。その他、日本補助犬研究所副所長(03-)。国立身体障がい者リハビリテーションセンター学院、台湾国立屏東科技大学獣医学部など非常勤講師。世界初の英語圏外の ADI(国際アシスタンスドッグ協会)理事に就任(02-05) 厚生労働省主催「介助犬、聴導犬の訓練等に関する検討」委員(02-03)、ADJ(アシスタンスドッグジャパン:日本の8育成団体が加盟)発起人&会長(02-)「人はなぜ犬や猫を飼うのか」(大月書店)DVD「愛犬のしつけ」(Soft Bank クリエイティブ)「マンガで知る 聴導犬」(明石書店)など。IADP(第1回国際アシスタンス・ドッグ・パートナーズ会議)in 松本)など補助犬に関する企画・プロデュースも行う。

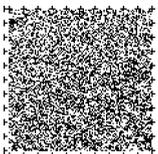
◆これまでの(福)日本聴導犬協会のチャレンジ

- 13の日本初!を実現した日本聴導犬協会
- ①1996年 行政(長野県伊那保健所)の推進を受け創設
 - ②2001年 育成聴導犬が、公的交通機関(JR 西日本)の同伴試験に合格
 - ③2001年 育成聴導犬が、航空3社の搭乗試験に合格
 - ④2001年 多目的(聴導犬と介助犬の作業をする)補助犬の育成と貸与
 - ⑤2001年 ADI(国際アシスタンスドッグ協会)正式メンバー
 - ⑥世界初(2001年) 会長有馬もとが、世界で最も成功する英国聴導犬協会から聴導犬インストラクターの国際認定
 - ⑦世界初(2002年) 英語圏外で会長有馬が ADI 理事に就任
 - ⑧2003年 聴導犬育成団体として初の社会福祉法人
 - ⑨2004年 聴導犬育成団体として厚生労働大臣指定法人
 - 2006年 (福)日本聴導犬協会が ADI 国際認定試験に合格
 - ⑩2006年 会長有馬もとが、ADI 聴導犬&介助犬インストラクター国際認定
 - ⑪2008年 聴導犬・介助犬育成団体として、バリアフリーの訓練施設を竣工
 - ⑫2009年 聴導犬・介助犬育成団体として初の厚生労働省関東信越厚生局長所管
 - ⑬2014年 盲導犬協会(中部盲導犬協会)との(相談業務のみ)コラボ

表：身体障害者補助犬法成立後の盲導犬・聴導犬・介助犬
(データは2014年12月1日厚生労働省調べ)

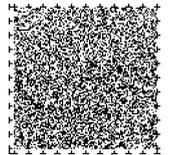
種類	盲導犬	聴導犬	介助犬
障 害	視覚障害	聴覚障害	肢体障害
仕事内容	「歩行を安全に保つ」ために、曲がり角や段差で立ち止まって知らせる、障害物(人の高さに出ている木の枝や工事用立て札など)をよける	「生活でユーザーの必要な音を知らせる」ドアチャイム、お湯がわいたヤカンなどの生活音を聞き分け、音源に導く。時には警報音を知らせ、逃げ遅れの危険を回避させる	「日常生活の介助」ドアの開閉、物を拾う&受け渡し、衣類の着脱の補助、体位の変換、歩行の支え、スイッチのオン&オフ、緊急時のライフライン等の操作
育成団体数*	10(2011年度は9)団体	21(2011年度は23)団体	25(2011年度は28)団体
実働数*	1010頭	54頭	72頭
認定団体に関する規定	国家公安委員会が指定する育成団体(各訓練所が認定を行なう一自認制度)*	厚生労働大臣が指定する社会福祉法人か公益法人が認定する(2003年4月~)*	厚生労働大臣が指定する社会福祉法人か公益法人が認定する(2003年4月~)*
使用者団体*	全日本盲導犬使用者の会	全日本聴導犬ユーザーの会	日本介助犬使用者の会
訓練犬の種類	本来は、ユーザーの身長や歩幅によって大きさを決める。大型犬(ラブラドル・リトリバー、ゴールデンリトリバーなど)から中型犬(オーストラリアン・シープドッグなど)	ユーザーの希望により大型(ラブラドルなど)から小型(チワワなど)まで多種多様。国際的にみても雑種犬が中心。保健所などの処分される保護犬から選ぶ。	ユーザーの身体能力によって決まる。大型犬(ラブラドル・リトリバー、ゴールデンリトリバーなど)から小型犬(パピヨン・ヨークシャーテリアなど)多種多様。
命 令	声による命令が主。ゴー(進め)、ストップ(止まれ)ライト・レフト(右・左)など二十種類	ユーザーが声を出せない方も多く、服従訓練での命令は言葉よりも動作や手話で行なわれる。人の命令ではなく、犬自身の自主的な判断と労働意欲に任せられる。	声による命令が主。テイク(者を取れ、持って来い)ラップ(ひざの上に)ステイ(ここで待て)タグ(引っ張り)など約50種類
訓練犬の適性	体高が55センチ程度。従順で冷静な判断ができる	判断能力と平常心が高い。温厚で従順だが、労働意欲の高い犬。必要な音に敏感で雑音に鈍感	作業能力が高く、従順で温厚。体高、体長は求められる介助動作による

※有馬もと「アシスタンス・ドッグ」1999年の取材内容より作成





有意な社会的環境との縦の連携の必要性 ～イングランドフットボール協会を参考に～



筑波大学大学院 人間総合科学研究科

体育学専攻 三枝 巧

Football for All

「Football for All」はThe FA（イングランドフットボール協会）のスローガンです。Football for All はたった3語で「サッカーはみんなのもの」という精神をたいまつのように掲げています。それは、能力、人種、宗教、性別、障がい等に関わらず、あらゆる人にサッカーの輪に入る機会を保障することを目指しています。実際、The FAは障がい者サッカーを同じサッカーのファミリーとして位置づけ、1999年以降は一つの協会として組織されました。日本ではJFAと障がい者サッカー団体は別々の組織ですが、イングランドでは健常者のサッカーも障がい者サッカーもThe FAに所属しています。どちらも同じ代表ユニフォームを着てプレーするのです。これまで、The FAは障がい者サッカーに関して、社会的環境と縦の連携を図りながら、ブラインドサッカー、アンプティーサッカー、CPサッカー、電動車いすサッカー等、様々な障がい者サッカーへの取り組みを行ってきました。では、The FAがどのように障がい者サッカーの振興に寄与してきたのかを紹介していきます。



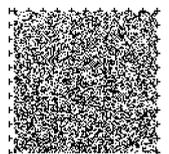
イベントポスター

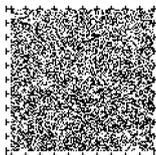
The FA と地域のサッカー協会(County FAs)との連携

The FA の特徴的な取り組みの一つは地域のサッカー協会 (County FAs) との縦の連携を図り、障がい者サッカーへの多様な関わりの機会を保障していることです。言い換えると、County FAs は地域の人々が障がい者サッカーに参加することができるよう、多様な機会を設けているのです。例えば、各地域のサッカー協会には、障がい者サッカーの振興を担う常勤の障がい者サッカー担当者がいます。(そして、本部のThe FAには、障がい者サッカー振興を統括する常任担当理事がいます。)その活動の一つが、地域のサッカー協会が障がい者サッカーのコーチや審判の養成講習会を開き、コーチと審判の養成に努めていることです。このように、中央と地域の協会との縦の連携により障がい者サッカーへの参加の窓口が開かれ、より多くの人の参加が保障されているのです。実際に地域のサッカー協会の講習会を通してThe FA 公認のBlind Football、Deaf Football、Disability Football のラ

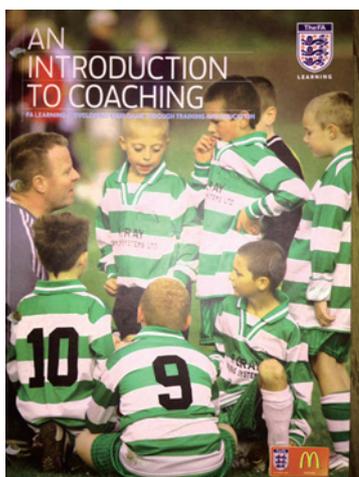


筆者が取ったイングランドのライセンス
The FA 公認「Blind Football」
「Disability Football」





イセンスを取ることができます。これに加えて、チームで障がい者サッカーのプレーを希望する人や、ボランティアを希望する人は、地域のサッカー協会を通して容易に情報を得ることができます。必要に応じて、障がい者サッカー担当者から活動の紹介を受けて実際に参加することも可能です。地域のサッカー協会を通してボランティアとしてイベントに参加することもできます。また、障がいのある児童を対象に、障がい者サッカーに親しむための体験会や有望なプレイヤーにより高いレベルの練習会を紹介するイベントも各地で開かれます。このように、中央の The FA と地域のサッカー協会が連携をし、誰でも障がい者サッカーに参加できる、または関われるシステムが出来上がっています。



The FA サッカー指導教本

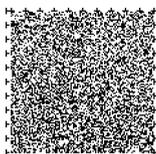
健常者のサッカーコーチの養成カリキュラム

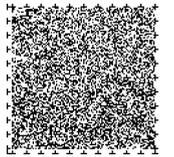
The FA の健常者のサッカーコーチの養成カリキュラムにおいても、障がい者サッカーとの連携がみられます。一般に、地域のサッカー協会によるコーチの養成は日本でも当然のことですが、ここで特筆すべきことは、健常者のサッカーコーチの資格取得に使用される教本に障がい者サッカーの概要が組み込まれていることです。健常者のサッカーコーチ養成カリキュラムで配布されるサッカーの指導教本には、先ず Football for All という言葉が掲げられています、さらに1999年から始まったThe FAによる障がい者サッカーのこれまでの取

り組みと、障がい者サッカーの概要が紹介されています。つまり、The FA は一般のサッカーコーチを目指す人が、その養成段階で必ず障がい者サッカーを知るシステムを設けているのです。このように、健常者のサッカーコーチ養成の過程に障がい者サッカーの内容を組み込むことで、その先の関わりを容易にしています。たとえ健常者サッカーの指導に携わっていても、指導現場で障がいのあるプレイヤーに出会った場合、その指導を可能にするスキルを養成の過程で準備しています。このように、The FA の健常者のサッカーコーチの養成課程は、障がい者サッカーと同一直線上にあるのです。

The FA と特別支援学校や大学（教育機関）との連携

もう一つの大きな取り組みに、教育機関との連携があります。それが Royal National College for Blind との連携です。RNC for Blind は、16歳以上の視覚障がい者の高等教育と職業訓練を目的とし創設され140年の歴史があります。The FA はブラインドサッカーの拠点としてこの学校を利用しています。ここにはブラインドサッカーやロービジョンフットサル専用のコートが設置され、世界大会や国内大会の試合会場、ブラインドサッカーやロービジョンフットサル代表チームの合宿拠点等に活用されています。ブラインドサッカーの練習に必須のサイドフェンスも常設され、人工芝のピッチも整備されています。2階にはカフェとレストランが併設されたテラスがあり、こちらから試合を観戦することが出来ます。さらに、この学校の生徒を対象にしたブラインドサッカーアカデミー（RNC Blind Football Academy）があります。レベルは初級から上級まであり、生徒は誰もが参加可能で、The FA のブラインドサッカー代表コーチによる指導を受けられます。この学内のアカデミーにより、生徒は勉強や職業訓練を受けながら、放課後はそのまま学内で定期的にブラインドサッカーを行うことができます。一般的に視覚に障がいのある方にとって、日常生活圏内にトレーニ





ング施設があることは重要なことです。このように、The FA は特別支援学校との連携を通して、ブラインドサッカーの推進に取り組んでいます。さらに、The FA と BUCS (British Universities and College Sport) との連携もあります。BUCS は、イングランドの大学スポーツを統括している団体です。この BUCS を通じ障がい者サッカーコーチの養成講習会を行っているのです。たとえば、大学の学生や指導者を対象として障がい者サッカーコーチの養成講習会を開いています。このような講習会の成果により、指導の現場において障がい者のプレイヤーにも柔軟な対応が出来るようになり、障がいのある学生がサッカーに参加できる可能性を大きく開いています。このように、The FA は教育機関との縦の連携を図っています。



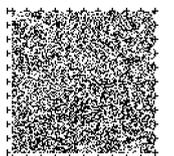
常設のサイドフェンスと人工芝のピッチ

サッカーのナショナルトレーニングセンター (St George's Park) との連携

St George's Park は、イングランドのサッカーのナショナルトレーニングセンターの一つです。このセンターの特徴は、健常者のイングランド代表チームも障がい者サッカー代表チームも、ともに当施設を使用していることです。実際、ブラインドサッカー、CP サッカー、アンプティーサッカー、電動車いすサッカー等の障がい者サッカー代表チームがこの施設で、代表のトレーニングを行っています。また、障がい者サッカーの国際試合や国際大会の会場にも使用されています。このように、練習環境をめぐる The FA 内での組織的な連携により、国を代表するアスリートたちが、障がいの有無に関わらず共有の施設を利用できる環境が実現しています。以上のように、ナショナルトレーニングセンターという The FA の最高位の象徴的施設においても、「同じサッカーのファミリー

である」、「フットボールはみんなのものである」という強い信念が反映されているのではないのでしょうか。

さらに特筆すべきは、地域の人たちにもこの施設が開放されていることです。もちろん、障がいのある人に対しても同様なのです。実際に地域の電動車いすのサッカーチームが日頃の練習の場として活用しています。一般的に長距離の練習場所への移動が困難を伴う方にとって身近な環境に練習場所があることは、非常に重要なことは明らかです。すべての人のニーズに合わせて施設を開放することは難しいかもしれませんが、このようなセンターが地域のチームにも開放されていることは高い評価に値するものです。卓越性を求める人から地域で楽しんでプレーする人まで、障がいのある人もない人もフェアにサッカーができる場がある、これは理想の実現ではないのでしょうか。そのような合理的配慮に、イングランドフットボールの文化の懐の深さが表れていると実感します。The FA の組織内の健常者と障がい者サッカーの相互の連携には、「Football for All」とイングランドサッカー文化の人々の意識の深さが表れているのではないのでしょうか。幸いにも、2011-12年にイギリスに留学していた筆者は、イングランドで障がい者サッカーの指導に携わることができ、同時にロンドンパラリンピックを直接観戦する機会に恵まれました。そして、折しも2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まりました。今後は、これまで以上に多くのプランが展開されていくことでしょう。それに伴い、障がい者スポーツと社会環境との連携が重要となってくるのは明白です。さらには、障がい者スポーツの文化環境をいかに成熟させてゆくかを問われていくのではないのでしょうか。この度紹介した The FA の取り組みが東京2020に向かう、そして、それ以降の日本の障がい者スポーツの未来に向かう一つの示唆になりうることを心より願います。



社会保険 Q&A

(問) 年金制度がいろいろ改正されているなかで、保険料の取扱いに大きな改善があるようですが、どのようなものか教えてください。

(答) 平成24年8月22日に公布された「公的年金制度の財政基盤及び最低保障機能の強化等のための国民年金法等の一部を改正する法律」(平成24年法律第62号) (略称「年金機能強化法」)により、平成26年4月から年金制度が見直しされています。

ここでは、保険料関係について、説明します。

1. 国民年金関係

(1) 保険料免除の遡及期間を過去2年分までに拡大

保険料の免除は、これまで7月から翌年6月まででしたが、保険料の納付が可能な過去2年分まで遡及して免除を受けることができるようになりました。

これとともに学生納付特例制度、若年者納付猶予制度も、同じく過去2年分まで遡及して受けることができます。

(2) 付加保険料の納付期間を過去2年分に延長

国民年金の第1号被保険者は、付加年金の保険料(月額400円)を納付することができますが、納付期限(納付月の翌月末日)までに納付しないと、加入を辞退したものとみなされて、その後は納付することができず、引き続き納付したいときは、改めて申し出なければなりません。

改正後は、国民年金保険料納付の時効期間(2年)と同じく、過去2年分まで遡って納付することができます。

(3) 免除期間の保険料の取扱いの改善

① 保険料前納後に免除に該当し

た場合

これまでは、その月以後の各月の保険料は還付されませんでした。改正後は、免除該当分以後の保険料は還付されることになりました。

② 遡及して法定免除となった場合

これまでは、免除該当日以後に前納した保険料は、すべて還付されました。改正後は、保険料納付済期間とすることができます。

③ 法定免除に該当した場合

これまでは、免除に該当すると、前納(納付)はできず、追納のみができました。改正後は、保険料の納付や前納ができます。

④ 保険料の2年前納の開始

国民年金保険料には、これまで6か月と1年にまとめて納付すると、割引となる「前納制度」があります。

これに平成26年度から、新たに口座振替による2年前納が始まります。割引額は、更に大きくなっていますが、現金納付はできない扱いとなっています。

なお、口座振替による前納の申込期限は、2月末となっています。

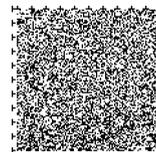
2. 厚生年金関係

産前産後休業期間中の厚生年金・健康保険の保険料免除

次世代育成の観点から、育児休業と同じく産前産後休業期間中の保険料が、本人・事業主とも免除されます。厚生年金基金加入者は、その掛金も免除されます。

将来受ける年金額は、休業前の標準報酬月額(給料)で計算されます。

(回答：社会保険労務士 高橋 利夫)



第29回 障害者による書道・写真全国コンテスト結果発表

「障害者による書道・写真全国コンテスト」は、障害者の完全参加と平等をスローガンとした1981年の国際障害者年を記念して、1984年に東京（新宿区戸山）に設置された全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）が主催するもので、障害のある方々の文化・芸術活動の促進と技術の向上、またそれらの活動を通じた積極的な自己実現と社会参加の促進を目的に1986年から行っております。

毎回、たくさんのご応募をいただき誠にありがとうございます。

今回も全国から、書道部門842点、写真部門214点（うち、携帯フォトの部11点）、合計1,056点という多数のご応募をいただきました。作品を出展していただいた皆様、ご協力くださいました関係各位にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

審査総評にもありますとおり、作品のレベルも向上し、甲乙付けがたく、審査は非常に難航いたしました。そのような中から、審査員の先生方の目に留まる素晴らしい作品を制作されました入賞者の皆様のお力には心より敬意を表します。ここに入賞された方々をご紹介します、入賞作品と審査員の寸評を掲載いたします。

審査総評

（書道部門）

今年は日本障害者リハビリテーション協会創立50周年、戸山サンライズ設立30周年と言う記念すべき年であり、戸山サンライズにおいて常陸宮殿下を御迎えして記念式典が催されました。協会に対する永年の支援、協力に対する感謝と今後一層の協力をとの御言葉が殿下よりなされました。

このコンテストも29回目を数えることを考えると、書の持つリハビリ効果ということが当初より認識されていたことが分かります。

書は日常生活に溶け込んでいる文字、身近な伝達手段として存在する文字を毛筆と黒い墨で表現するものです。そこには一本の線を引く為に多様な動きが要求されています。呼吸や筆圧の変化、遅速の変化や抑揚の変化等により万変する線が生じます。細かな指の動きや腕の働きが神経に刺激を与えて社会復帰への大きな手助けとなっていることは、コンテストに出品する人数の多さに表わされています。

また書は「心の鏡」あるいは「書は心画」という言葉に表れているように、心の動きを表現するに毛筆は大変貴重な材料です。白い紙に黒い墨で一過性の線を引く、その緊張感と達成された喜び、今日より明日へと繋がる連綿とした高揚感が書の持つ魅力と言えましょう。

今回も多くの方々の出品を頂きました。永い修練の賜物の書、生き生きとした心の書、整然とした書など大変見応えのある作品が多くありました。一層の努力の成果を今後も期待します。

渡部 會山

（創玄書道会審査会員、毎日書道展審査会員）

（写真部門）

デジタルカメラの普及と技術的向上で今までより格段に被写体の範囲が広がりました。人の動きのみならず、動物写真に格段の進歩が見られます。

早いシャッターが切れること。ズームレンズで近寄れることなど、その有利な条件を生かして、今まで写せなかったものが見事にとらえられています。体のハンディキャップを乗り越える上で、ズームレンズが有効に使われているようです。

デジタルのみでなく、フィルムを使われる方もしっかりその特性を生かしていい質感の作品を出されてさすがと感じました。

ただ、惜しいと思うのは、パソコンを使えばもっと整ったトーンになったと思えるものがあつたこと。トリミングすればもっと引き締まった絵になったのにと惜しまれる作品も見受けられました。

最後の「絵」になったところが勝負どころですから大胆にやってください。

高岩 震

（フリーカメラマン、日本映画撮影監督協会員）

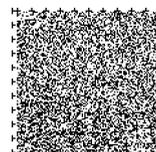
審査員一覧（敬称略）

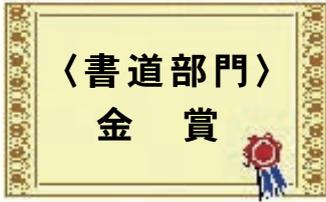
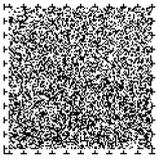
渡部 會山（創玄書道会審査会員、毎日書道展審査会員）

高岩 震（フリーカメラマン、日本映画撮影監督協会員）

炭谷 茂（公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会会長）

片石 修三（全国障害者総合福祉センター館長）





「力」
青森県 川村 悠斗
力強く活き活きとした生命力に溢れた作品で心打たれます。氣力が充実し毛筆の特性を十二分に引き出しています。「書は心画」と言われますが心の強さが良く表れています。



「炎」
宮城県 宮本 関山
どんな逆境にも負けず燃え盛る炎には自分への励ましが力強く照らし出されています。力強く打ち込まれ、そして速く高く抜き去る筆の軌跡が大きく広がりのある作品となりました。



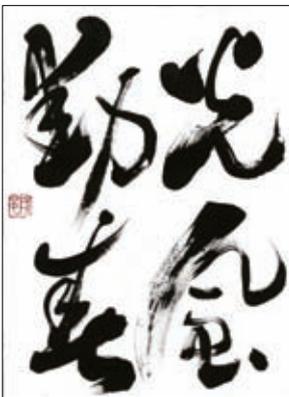
「賢哲」
福島県 鹿野 哲由
伸びやかに筆理に沿った書き振りに永年の努力の積み重ねが読み取れます。余分な力を抜いて心の動くままにリズムカルに送筆された線はよく澄んで明るく完成度の高い作となりました。



「Shapes of Love」
岐阜県 松坂 潤
何物にも負けない強い気持が伸びやかな線になりました。平明な筆の動きは線から余分な贅肉を取り去り清水のようなすっきりとした爽快さを感じる作品となりました。



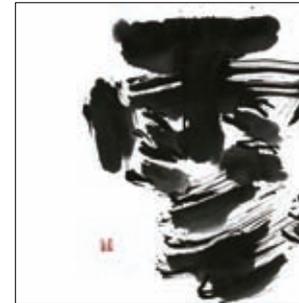
「春」
岐阜県 金神 徹磨
長く寒い冬が終わると野山に生き生きとした息吹が興ります。その喜びに満ちた春の情景が実に楽しく表現されています。迷いの無い心のままに書かれた線に魅かれます。



「光風動春」
熊本県 鹿島 陽子
粘りの強い線に魅かれます。抑揚を激しくした細太の極端な動きに筆の特性を知り尽くした手腕を見せえています。軟毫はこうして使用するという問いかけが見事です。



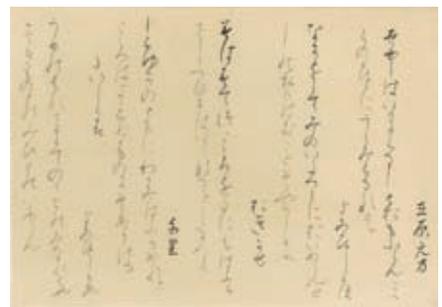
「LOVE」
大分県 大隈 志乃
英字部と小書き部の調和が見事です。全体感を大切にしながらそれぞれが他を支え合っています。素直な心の動きが青墨の働きにより一層深まり魅力ある作品となりました。



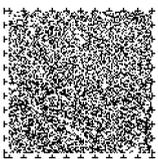
「雲」
仙台市 斎藤 大輝
何と激しい雲でしょう。そして何と楽しく見える雲でしょう。漢字は象徴性が豊かですが上手にイメージを膨らませて大胆な布字と筆の動きで表現して見事な作品となりました。

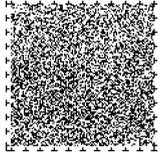


「鳳」
浜松市 内山きよ子
甲骨文字や金文などの古代文字は原始性豊かで心揺さ振られるところがあります。この作品は鳥の飛び立たんとする形に面白さと線の柔軟性が古代文字の特性をよく掴んでいます。



「かな古典（高野切）臨書」
広島市 上田智恵美
仮名作品は流麗さに優れていますがそれだけに送筆に迷いが禁物です。この作は自然な流れと穂先の捻転に余裕があり力強く表現されてかなの楷書と言われる特徴を良く掴んでいます。





「はばたき」

北海道 長澤 剛

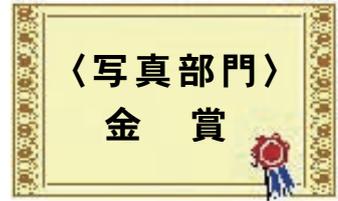
二羽の白鳥が水面から飛び立つところです。逆光の中で捉えられて広げた羽、水しぶきの輝きがしっかり捉えられ、躍動感溢れる写真です。拍手。



「北帰行」

宮城県 佐藤 幸之

春が戻ってきたシベリヤに向けて一斉に飛び立つ白鳥の群れ。喜びと力強さを逆光に輝く湖面が強調して素敵です。



「花の泪」
光り方も万全で素敵です。
富山県 岡崎 勇
バックの処理のみならず水玉の



「富士山と並んで」

岐阜県 水谷 早苗

撮影者もかなり高いところで構えられたとみえます。その寒さの中で捉えられた一瞬は至上的のものです。温かい拍手をおくります。



「とったどう」

京都府 三崎 美夫

上空から獲物めがけて急襲して、掴み取った喜び、誇りが体全体から溢れています。バンザイ！！



「しぶきを浴びて」

京都府 安田 隆

上手い写真です。堰と水面の黒い中に白鷺がぱつと浮かんで、しかも顔をつかんだ頭の暗い部分は、しぶきをバックにシルエットでくっきりと見えて、感動しました。



「オオスカシバ」

大阪府 川島 健司

珍しい昆虫を捜し求めて、しかも100ミリのマクロでかつちり捕らえた努力は賞賛にあたいします。昆虫がお好きなのですね。拍手。



「力強さに見とれる」

兵庫県 金田 廣一

多分これは鴨同士の求愛行動だと思います。左の地味なのが雌で派手に羽ばたいているのが雄で春先に良く見られる光景です。解釈は別として、良く捉えられています。嬉しい写真です。



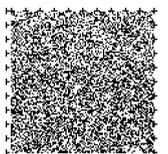
「ダルマさん今日は」
室積海岸に通いつめてよく「存知なのですね。嬉しい写真です」
山口県 小林 哲也

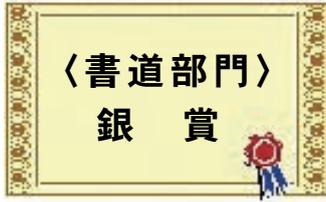
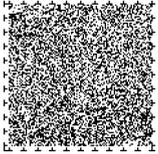


「懸命に！！」

福岡市 小田 隆

いわゆるパラリンピックではなく、普通の市民マラソンに参加。力闘の姿がしっかりとらえられています。





「亞聖鄰幾之智」

青森県 佐藤百合香

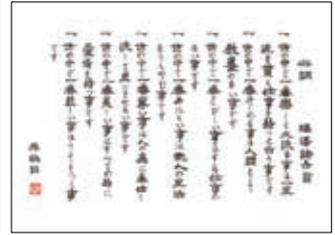
執筆に際し余分な力が抜けており線に余裕と伸びがあります。特に二行目の伸びやかさに目を奪われず。平明な心の動きがこのような明るく伸びやかに繋がっています。



「純真無垢」

岩手県 齊藤権四郎

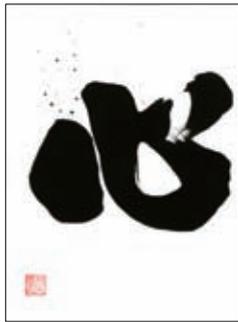
不自由さを感じさせない線の伸びです。心境を上手に書き上げた点は永年の修練の成果が出ています。色紙の縫め方など実に見事なものがあり外連の無い作品に仕上がっています。



「福澤諭吉翁の心訓」

神奈川県 福山 典昭

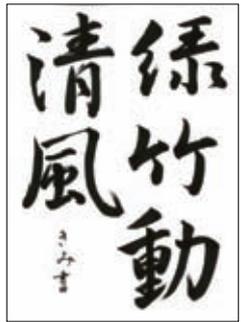
福澤諭吉の心訓を自分の座右の銘とされてきたのでしょうか。心静かに隷書体を駆使して書かれており沈潜した深みのある線が詩情をよく引き締めて表現されています。



「心「こころ」」

岐阜県 河原 良光

何の街いも無く心のおもむくままに筆を下し書き上げた作です。何か墨蹟を想わせる幽隠な雰囲気を出しています。がっちりとした強固な心を想わせる深さに魅かれます。



「緑竹動清風」

三重県 細井 きみ

意遠と言う見えない線の繋がりは空間での呼吸の大切さを示していますが、この作品はよくその妙を掴んでいます。自然な運筆で余情のある線の繋がりが作品に余裕を醸し出しています。



「七つの海」

奈良県 田中 信宏

広大な七つの海です。緊張した書き出しから徐々に心がほぐれ自由さを取り戻した腕の動きは一幕の劇を想わせる作品となりました。余裕ある心の動きが大切と感じさせています。



「道光宇宙」

島根県 岩本 勝美

逸勢の願文のような姿態ですね。線のうねりや起筆の特徴を良く掴んでいます。縦画の強さと鋭い横画とが上手に絡み合せて深味のある作品に仕上げた所に感心させられます。



「(心境) 平凡」

香川県 池田 隆

何の外連も街いも無く書かれた心境は迷いの無い送筆に良く表れて深味のある線となって表れています。書は心の鏡です。素直な心は文字に良く表れると言える作品です。



「龍」

愛媛県 高橋 克好

龍の草書体を青墨で表現。大きな動きで天を翔ける龍のイメージが良く表現されています。左手での自然な送筆は感銘を覚えると共に終筆の点の位置の工夫が見事です。



「山」

大分県 前田 秀平

重畳とした山脈を想わせる文字で山の象徴性を十二分に表現しています。潤濁を巧みに活かし遠近を出しています。それぞれの山が一筆や上下、円などで書かれた所は身近な風景なのでしょう。



「風」

宮崎県 古谷 旬児

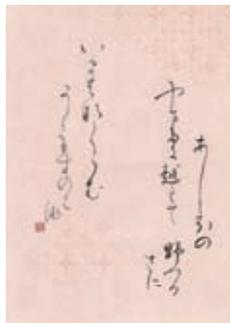
風構えの線に妙味を覚えます。突風の激しさの技筆に比し安らぎのある下降線。そして穂先の捻じりによる筆の収斂など多彩な線の組み合わせが心持よい風を感じさせます。



「気」

札幌市 大竹 靖子

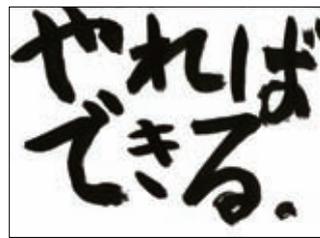
飛白書を想わせる作品です。紙を折って書いたとのことですが、書写の材料の工夫により表現の中の広がり求めた所に新鮮さが出ています。表現力の追求が書の面白さに繋がりました。



「あし引きの山谷越えて野原に今花くらむぐいすの声」

仙台市 石黒 良香

仮名作品特有の散布形式を利用して成功しています。藤の花の連なりのイメージで出だしを下げて後半を渴筆で上部で取っています。後半の盛り上がり線の線が大変魅力的です。



「やればできる」

静岡市 鈴木 晴喜

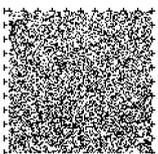
何事も挑戦する意欲があれば障害に打ち勝つことが出来るとの強い信念を力強く表現しています。この強い心があればこそその作品です。一本の線に託された思いに感動しました。

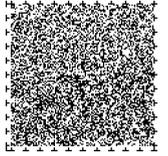


「わ(和)」

大阪市 金沢 直樹

驚きの「わ」でしょうか。力強く豪快な表現です。筆の弾力を十分活かした浮沈の妙が見事で紙面一杯に書かれています。余分な力の抜けた運筆の大きさが大変魅力的です。





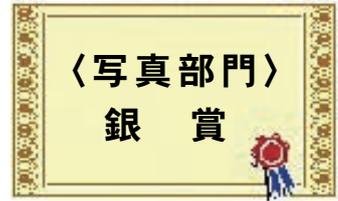
「静寂」
北海道 高橋 正子

全体、早起きして写した厳しさが素敵ですが、とくに手前のツラらが絵を引き締めています。寒さに立ち向かった努力の結晶ですね。



「やすらぎとみらいの里」
福島県 近藤 正男

「やすらぎとみらいの里」は素晴らしい写真です。写真の中心で十分に表現できていますから、題名に「みらいの里」は要らないと思います。



「一心不乱」
新潟県 武藤トモ子

素敵な写真で努力も認めます。欲を言えばカメラをもっと低くして、バックの見物人はカット、書かれた字をもっと入れ、書いている女の子の顔を入れれば金賞間違いなしです。



「新湊大橋渡り初め」
富山県 野城 恒雄

渡り初めの日に写したことは題名でわかりましたが、むしろこの写真の魅力は橋自体の素敵さと周りの風景の美しさで、「橋が出来たよ！！！！」としたほうが率直な気がします。



「ラフティング」

岐阜県 大河 達夫

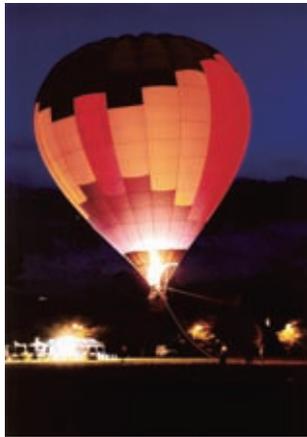
ゴムボートでの急流くだりの迫力が長く出ています。もう一秒待って、子供に水がかかるところを写せばと思います。客観的過ぎて、絵が整いすぎています。連写でそんなコマもあるので、残念です。



「大観覧車」

滋賀県 吉田真太郎

ワイドのレンズで思いつき近づくいてあおって写した効果が十分にできています。



「揺れるバルーン」
滋賀県 グロー

茂詒 寛

熱気球が離陸する様をその場の灯かりでしっかりと捉えて素敵です。



「花火見物」

兵庫県 濱崎 成人

十分に金賞クラスの写真です。ただ上の方が暗くて寂しいのです。カメラを少し低くして画面一杯花火に出来なかったのでしょうか。残念です。



「トンボ4兄弟」

香川県 木村 邦弘

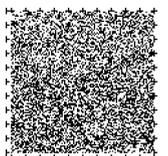
好きだなー、こんな写真。変に芸術的にならずに、面白く思ったものを素直に写す。これが写真の原点でしょう。頑張ってください。

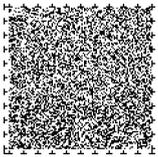


「お食事中ごめんネ！」

仙台市 三浦 正利

蝶に対する愛情、優しさが題名にもよくでていて、ころやすらぐ写真です。





〈書道部門〉
銅賞



「かぜ」

青森県 中嶋 翔
岩木山に吹く北風を想わせる表現となりました。表現に際し不自由さを逆手に取って、ゆっくりと運筆した線の揺れが草花を渡る風のイメージに繋がりと奥行きのある深い作品となりました。



「心」

青森県 相馬 拓哉
迷いのない運筆がすっきりと爽快感のある書線に結びつきました。筆先の柔軟性を十分引き出した運腕の大きさが活かされ、特に最後の点の位置に確かな手腕を感じます。



「秋月」

岩手県 中村 幹
筆理に合致した運筆は作品に落ち着きと広がりを与えています。心静かに月を眺める心境でしょうか。すっきりと抜き去った左右への払いや「月」の伸びやかな二画目など高度な技量を示しています。



「仁に依り芸に遊ぶ」

宮城県 渡邊 唯男
行書の極意を見るような自然な流れを持った作品です。毛筆での意識が無く自分の意のままに動く手先を楽しんで書いています。この自由さを得る修練の長さが窺えます。



「口筆魂」

秋田県 佐々木秀雄
確かな章法で書き上げた作品です。起筆、送筆、終筆とどれを取っても見事なものがあります。特に魂の大きさや迫力は見事で強い心が見事に表現されて圧倒される想いです。



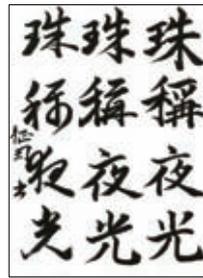
「路入甲州」

山形県 齋藤 美晴
一本一本丁寧に書き上げられた線には強さがあり艶があります。これは直筆で書かれた賜物です。直筆で書かれた作品は活き活きとした健康的な輝きに満ちた見栄えのあるものとなります。見事です。



「乾坤輝」

福島県 大山マサコ
大きな運腕と余分な力の抜けた送筆で作品が大きく見えます。硬質な直線は透明度が高く切り裂くような勢いがあり、余白が美しく輝いています。すっきりとした姿勢が魅力的です。



「千字文三体(珠稱夜光)」

埼玉県 山岸 征司
楷行草の三体千字文を上手に纏め上げ書き切っています。力強い楷書、流麗な草書と難易度の高い書風を手堅く纏めた力に感心します。終筆の処理など細部まで心を留めた作品です。



「ありがとう」

千葉県 吉岡 好子
心温まる言葉を素直な筆使いで表現しています。この平明な書線を表現するに際し多大な努力があったことが窺えます。それぞれの文字が懐の広いしっかりとした形を成し伸びやかに書かれています。



「韓弊煩刑」

千葉県 根本ムツ子
紙面一杯に書かれた技量に感動させられます。すっきりと切れ味の鋭い横画を支える縦画の逞しさは余分な力の抜けた大きな運腕の賜物です。この運腕を今後も求めましよう。



「のほほん」

神奈川県 後藤 理沙
のんびりと心に余裕を持って書かれた作で線に伸びやかさが感じられます。子猫の背中を撫でるような温かく滋味深い線になりました。書の持つ力を十二分に発揮しています。



「山いも」

神奈川県 早野 正晃
文字の成り立ちをしっかりと掴んで大きな運腕で書かれた所に魅かれます。平仮名が墨量豊かに書かれ、漢字に負けない強い線を生み出しています。全体の文字の配置も良く考えられています。



「うし」

岐阜県 國井 亮太
どんな牛なのでしょう?大胆に一杯打ち込んで一気に空間に抜き去った筆の動きが作品に生き生きとした動きを与えて暴走する牛や闘牛の一場面を想わせるような豪快な作品です。



「だいきん」

大阪府 大野真奈美
しなやかな真白い大根を想わせる二行目の艶やかな線に魅かれます。伸びやかで屈託の無い書き方が書線に滲み出て大きく見える作品となりました。名前も上手に書かれています。



「日本がんばれ」

大阪府 三木 眞祥
今年は多くの出来事がありました。自分が自身の頑張りを一杯に表現し、その頑張りを全国に発信しているかのようです。粘りのある力強い線が語りかける心情は熱いものを感じさせます。



「充実」

島根県 三浦美恵子
清々しく爽やかな風を想わせるすっきりとした作となりました。余分な力の抜けた心の余裕が線の清涼さを生み出しています。布字のバランスも具合よく纏まっています。



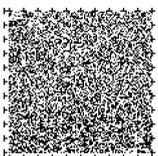
「どんぐり」

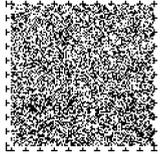
徳島県 藤川 佳織
童謡のどんぐりを想わせる丸みを帯びた字形が何とも言えない楽しい世界に導いてくれました。直線の上部と曲線の下部が上手に溶け合っています。名前も本文に良く合致しています。



「石」

大分県 七蔵司 混太
強固で何物にも動じない巨石のイメージが湧いています。力強く引かれた直線と左に跳ね上げた濁筆が互いに影響を与えて作品に奥行きと動きを与えています。縁取りも効果的です。





「光」

宮崎県 矢野 幹子
キラキラと揺れ動く木洩れ陽を想わせる作品です。上部のゆったりとした動きに頭上の茂みを想わせ下部の激しく力強い線が埋めく光となりました。名前の位置も作品に奥行きを与えています。



「通身是手眼」

宮崎県 山内 文代
転折に左手の苦勞が見えますが他は見事な書き振りで。特に左右の払いの伸びやかで見事です。全体を貫く強い胆力が深く力強い書線に結びつき高度な表現の作品となりました。



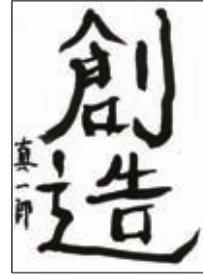
「秋の空」

鹿児島県 湯村 美香
硬筆は最後まで気を抜かず心に落ち着かせて書かなければなりません。迷いの無い書き方で最後まで通貫性が豊かです。線に揺れや形の崩れが見えない点に手腕の高さが目に付きます。



「道」

沖縄県 大城 勝一
鋭く紙を切り裂くような力強い線が目につきます。贅肉を取り去った線は強く深くなりますが、この作品は骨力と直線主体の線で書かれて他に類を見ない高度なものが含まれていて見事です。



「創造」

仙台市 渡辺真一郎
大きく腕を動かし紙面一杯に表現されており字内空間の広さが見事です。小さく纏めるのではなく線を引く呼吸を大切にしている様子が良く出ています。「造」の強さと造形力に魅かれます。



「これ日」

横浜市 渡辺 彰平
ゆったりとした書き方で銜いの無い線になりました。これは作中に温雅な風を感じさせるに十分です。字形もしっかりと書き上げています。「も」「れ」のゆるやかな書線が見事です。



「初めて書いた花」

浜松市 鈴木あや子
白描の花は細密画を想わせる繊細な呼吸と用筆法です。それに添えられた文章が一層花の大きな美しさを引き立てています。絵心と筆の合作により毛筆で書く楽しさが一層深まった様子が窺えます。



「雲游」

浜松市 鈴木 都子
「線を引く」と言う言葉通りに穂先が線の魅かれる方向に倒れ豊かでは無い線となつています。無理の無い自然な運筆の妙味ですね。ゆるやかな筆の軌跡に余裕が感じられ修練の長さを想わせます。



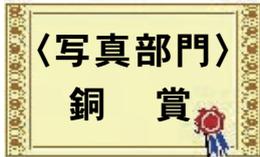
「空蟬」

福岡市 橋口 香
直線構成で古縁を想わせる書です。ゆるやかな風の流を感じられるのは何の銜いも無い平明な心の落ち着きよる筆の動きでしょう。素朴な表現の古い隷書を楽しんで書いています。



「元氣」

熊本市 渡辺 優
遠くから引き込んだ元氣な線、そして速くに抜き去る余情ある終筆の処理により紙面に元氣が溢れており作品が大きく見えます。この遠勢は書するうえで大変重要ですが上手に活用しています。



「太陽の恵み」

北海道 中田 幸雄
一杯のひまわりとバックに風車を入れたのが成功です。ちょっとヨーロッパを思わせる洒落た絵になりました。



「ドローリンピック (田舎館)」

青森県 相馬 修
後ろの二人は要らないのでは？いっそ自分も中に飛び込んで近づいて、画面一杯ドロだらけの人たちを写せば金賞間違いなしなのですが、腰が引けています。敢闘精神がほしい。



「長沼の風車」

宮城県 阿部 雄二
一見オランダ風で洒落た写真になっています。



「ごきげん」

福島県 磯 和也
「たのしそう」の一言につきます。いいチャンスをとらえましたね。



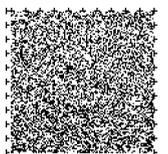
「快速SL「D51」みなかみ号」

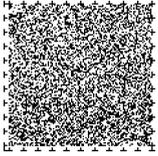
群馬県 藤田 和也
客車を引っ張る力強いD51の姿をなんのてらにも無く素直にとらえています。



「姫川の流れと白馬連山」

神奈川県 小出 庄作
まさに情熱が作り出した絵ですね。拍手！！





「夕日が天に一直線」

岐阜県 大橋 茂

レンズのゴーストイメージだと思いますが、黒い空に真っ直ぐ伸びた光の線が印象的で面白い写真になりましたね。



「欲張り」

岐阜県 可児 芳春

鮎を二匹も一度に捕まえて得意顔。まさに欲張りですね。楽しい写真です。



「くろ土の詩」

長野県 谷口 諒一

浅間の春の息吹を感じさせる大きな景色です。



「晩秋の朝」

愛知県 萩原 煌次

諏訪側から富士をとらえた素晴らしいロングショットですね。トーンの連なりも素晴らしいし、めったに見ることのない富士の写真です。最高です。



「三河湾に浮かぶ寝釈迦」

愛知県 鈴木 一三

楽しい写真ですね。ただどうして太陽が真上に真っ直ぐ空が明るいのでしょうか。理解不能です。



「元氣一杯のはすの華」

滋賀県 法澤 佐苗

花を写すのは難しいのです。順光過ぎて立体感と質感が弱いの欠点です。



「道中」

滋賀県 宮川 采花

ズームの望遠にせず寄って写した効果が出て、きっちり写って貴女の意図がはっきり出ています。一方バックもはっきり出て蝶が浮かび上がらない逆の面もあります。レンズの焦点距離と絞りの関係で主体を鮮明に写す工夫も大切にしてください。



「100年以上つづく夜久野の歴史」

(伝統の「額田まつり」の山車がまわる)

京都府 松田 寛之

フィルムでストロボをたいたので山車そのものは綺麗に出ました。しかし周りが真っ暗で祭り全体の雰囲気わかりません。出来れば高感度カメラで全体を写してみてください。



「あなたはどこに？」

奈良県 松田登代子

ゲレンデに流れる木々の影が素敵ですね。あなたの人影がご主人なのでしょうか、広く人影のないゲレンデに取り残された寂しさが題名のもとなのでしょう。



「朝焼け雲」

広島県 坂口 清秀

滅多にみれない不思議な朝焼けですね。すばやくシャッターを切ったのが成功のもとですね。



「静寂」

山口県 溝岡 洋介

藤の花がいささか飛び目ではありますが、静かな池のほとりがよく出ています。赤い魚の流れもかえって静寂を引き立てているように思えます。



「カエルのお宿」

広島市 堀越 義夫

大きな花に雨蛙がちょこんと止まっている微笑ましいショットですね。欲を言えば花の白い部分をもっとすっきり出ればなお良かったのに。デジタルではその加工が出来るのですから、試してみてください。



「気流」

福岡市 池永 静治

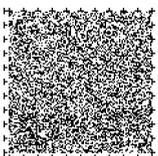
台風が過ぎた後、空にはいろいろ面白い雲が出ます。これもそのひとつで楽しい写真になりましたね。

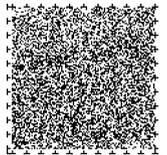


「滝開き」

福岡市 矢野 瑞穂

一心に祈る行者のまわりに、まるで後光のように飛び散る水しぶき。清潔で素敵な写真です。見る人の心を清めます。





「いまで なん本め？」
滋賀県 鶴飼 玲子

コの字型の赤い鳥居の配列も楽しいし、数えている子供が「いかに多いか」を表していて、楽しい写真になっています。



「ひこうきぐも」
香川県 佐藤 仁

すばやく捉えた雲を評価しますが、上が開きすぎています。雲を絵の上の方に捉えるべきでした。これも「日の丸構図」の悪い例です。



「立川ねぶた祭り」
川崎市 村田由美子

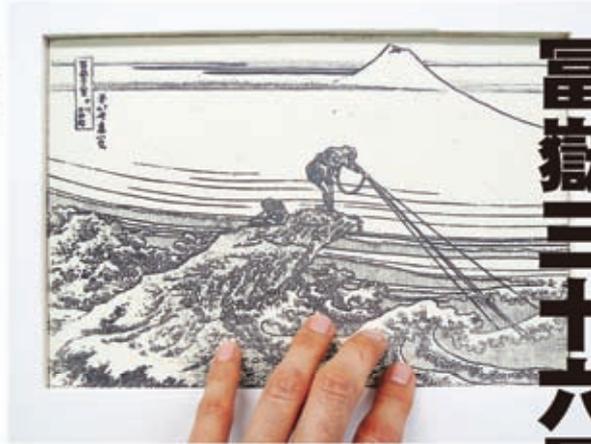
せつかくのお祭りも上半分が真っ黒です。たのしいお祭りを画面一杯に入れましょう。



お知らせ

平成27年2月7日(土)～3月9日(月)

さわると見える



名画のあたらしい世界

富嶽三十六景

さわられる

特殊な技術を用いることによって、浮世絵の線描を立体的にあらわし制作された「さわられる富嶽三十六景」。葛飾北斎の傑作にして、世界で最も著名な富士図のひとつであるこの作品を、目で見るだけではなく、手でさわって鑑賞することができるようになりました。今回は、「さわられる富嶽三十六景」と、浮世絵版画の「富嶽三十六景」のどちらも展示いたします。両者を比較しながら、どうぞ北斎の大作を“見て”“さわって”お楽しみください。

開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日：毎週火曜日

主催：山梨県立博物館 技術協力：TEAM MASA

観覧料：常設展観覧料でご覧いただけます。

一般 510 (420) 円 大学生 210 (170) 円

※65歳以上の方、障害者の方（およびその介護をされる方）、小・中・高・特別支援学校等の児童・生徒は無料です。

※()内は20名以上の団体、県内のホテルや旅館に当日か前日に宿泊する方を対象とした割引です。

※無料、割引の対象となる方は、それぞれ証明できるものをご提示ください。

※定期観覧券（年間パスポート）もごさいます。

山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

〒406-0801

山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

TEL 055-261-2631 FAX055-261-2632

E-mail kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp

URL <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>

戸山サンライズ (通巻第264号)

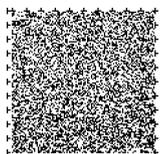
発行 平成26年12月10日

発行人 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 会長 炭谷 茂

編集 全国障害者総合福祉センター

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1 TEL.03 (3204) 3611(代表) FAX.03 (3232) 3621

<http://www.normanet.ne.jp/~ww100006/index.htm>



職員の福利厚生はおまかせ!

会員数

24.1 万人

(平成26年10月現在)

新規会員募集中

豊富なサービスメニュー

ソウェルクラブ “クラブオフ”

全国75,000か所以上の各種施設が優待料金。

- ホテル・リゾート ● ライフサポート
- レジャー ● ビューティー&スポーツ
- 映画

生活サポート

- 特別資金ローン
- ソウェル保険(団体生命・積立)
- ソウェル保険(傷害・入院・がん)
- ショッピング 他

地域(都道府県)サービス

- 会員交流事業 (日帰り・宿泊旅行、観劇・コンサート、テーマパークツアー、スポーツ大会、テーブルマナー 他)
- 地域開発メニュー (宿泊、リゾート、レジャー施設割引 他)

トラベル&スポーツ

- 全国提携宿泊施設
- テーマパーク
- 国内・海外パッケージツアー
- レンタカー
- スポーツクラブ
- スクール 他

各種情報提供

- ホームページ
- ハンドブック ● 情報誌
- オリジナル手帳の配布
- ソウェルクラブニュースの発行 他

充実した基幹サービス

- 生活習慣病予防健診 1人 **4,120円**助成
- 健康生活用品給付 毎年 **1品**贈呈
- こころとからだの電話健康相談 相談料・通話料 **無料**
- 各種お祝品贈呈
 - ・結婚お祝い **1万円**の商品券
 - ・出産お祝い **1万円**の商品券
 - ・入学お祝い **5,000円**の商品券
 - ・永年勤続 5、10、15、20、25、30年勤続 **5,000円～5万円相当**の記念品
- 万一の際
 - ・会員死亡 **60万円**(就業中の事故… **180万円**)
 - ・配偶者死亡 **10万円**
 - ・高度障害 **60万円**、後遺障害 **最高120万円**
 - ・入院 1日 **1,000円**、入院中に手術 **手術内容に基づき給付**
 - ・災害見舞金 法人 **20万円**、会員個人 **1万円**
- 資格取得 **5,000円相当**の記念品
- 各種講習会 受講料・教材費 **無料**
- 海外研修 費用の **半額程度**助成
- クラブ・サークル活動 1人あたり **1,000円**助成
- 指定保養所 **優待料金+会員2,500円**引き
- 会員制リゾート **法人会員料金**



ソウェルクラブ
Sowel
CLUB

ソウェルクラブの資料請求、加入のお申し込みは
社会福祉法人 福利厚生センター

<http://www.sowel.or.jp> 詳しくは で または、お電話でお問い合わせください。
TEL ☎ 0120-292-711 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビル10階